

公益財団法人群馬県漁業増殖基金協会
令和3年度事業報告書並びに収支計算書

(公財) 群馬県漁業増殖基金協会

令和3年度事業報告

1 事業の実施状況

1) 会議等開催状況

年月日	会議名等	議 事
5.7	令和2年度後期会計監査会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度後期会計処理について ・令和2年度財務諸表について
5.14	第52回（令和3年度） 定期理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告ならびに財務諸表、財産目録等の承認の件 ・令和3年度定期評議員会の招集の件（報告事項） ・基金協会保有債券の償還（コール条項）に伴う債券買換結果 ・執行理事の職務執行状況
5.31	令和3年度定期評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告ならびに財務諸表、財産目録等の承認の件 ・役員（理事・監事）の補欠選任の件（報告事項） ・基金協会保有債券の償還（コール条項）に伴う債券買換結果
6.9	令和3年度第2回理事会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局長の任命の承認に関する件
7.19	令和3年度第3回理事会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・基金協会保有債券の買換（購入）の件 ・令和3年度臨時評議員会の招集、開催について
7.27	令和3年度第2回評議員会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・基金協会保有債券の買換（購入）の件
10.15	令和3年度10月理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業の執行状況の件 ・財産運用規定の制定の件（報告事項） ・執行理事の職務執行状況
12.3	令和3年度前期会計監査会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度前期の会計処理について
3.4	令和3年度正副理事長会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業の執行状況と令和4年度事業計画並びに収支予算案（経営安定積立資産取崩計画含む）について ・理事及び監事の任期満了による改選について ・事務局長の任命について
3.15	令和3年度3月理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画並びに収支予算案承認の件 ・経営安定積立資産の取り崩しの件 ・事務局長の任免の件 ・令和3年度3月評議員会の招集の件（報告事項） ・執行理事の職務執行状況
3.25	令和3年度3月評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画並びに収支予算案承認の件 ・経営安定積立資産の取り崩しの件

2) 令和3年度事業実施状況

本法人は、群馬県の水産資源の維持培養と漁場の開発保全を図り、漁業者の福利増進に寄与し、併せて魚を主とする自然環境・水産環境の保護、整備することを目的としている。基本財産運用による果実が減少している中で、本会設立の趣旨に添い、県内河川および湖沼における漁業振興に最大限努めるものとした、令和3年度事業計画に基づき事業を実施した。

各事業については基本的に魚が住みやすい河川・湖沼の環境保全を図りつつ、積極的に魚を増やす事業を展開し、また地域に生息する魚類を保護増殖するため地域に居住する学童等に魚の放流を体験してもらうなど啓蒙活動の推進を図った。

河川漁協運営に大きな影響を与えている冷水病対策については、冷水病菌持ち込みを未然に防ぐため県産アユ種苗の放流増進施策を進めたことからその被害量は確実に減少傾向となり、相当の効果も認められた。

減少魚類対策としては、試験研究機関、市町村、有識者等と協議しながら、県内で減少の著しい魚類の効率的で安定的な資源回復策の検討や、新しい増養殖技術や効率的な技術の導入を図るため、情報の入手に努めた。

本法人は、水産資源の保護増殖並びに水産振興に必要な環境保全・整備を目的とする事業を積極的に展開するため、令和3年度の個別事業として、以下の事業を実施した。

1. 漁協地域住民交流推進事業

漁業協同組合が地域の学校や地域住民等との交流、啓蒙活動を深めるため、漁業協同組合が実施する県産魚類を用いた触れあい教室、釣り教室、放流体験会等の事業に対して放流種苗費の一部を助成した。

2. 群馬県産アユ種苗放流推進事業

群馬県において漁獲量増大を目指し作出・養成した人工アユ種苗について、放流を円滑に推進するため、放流種苗費の一部を助成した。

3. 減少魚種放流推進事業

群馬県の在来魚種のうち減少魚・希少魚等について、水産試験場が手がける人工種苗生産技術により作出された種苗を入手し、増殖事業による資源回復を図った。また、新しい増養殖技術や効率的な技術の導入を図るため、必要な支援を行った。

3) 事業の概要

(1) 漁協地域住民交流推進事業

一般県民、児童等によるさかな放流式を開催し、自然に親しむ機会を提供した。

4漁協・12箇所752名の児童等により放流式で放流した、ヤマメ稚魚29,500尾、ヤマメ発眼卵5,000粒、ヤマメ成魚115kg、アユ稚魚50kgの放流種苗費の一部を助成した。

(予算額：700,000円、助成額：554,000円)

開催漁協	開催日	場 所	参 加 者	放 流 魚
阪東漁協	3/9	渋川市そば石・利根川	渋川幼稚園児、保護者 他 88名	ヤマメ稚魚 6,000尾

	3/9	渋川市白井・利根川	こもち幼稚園児、保護者他 41名	ヤマ稚魚 4,000尾
群馬漁協	2/28	桐生市新里町・鑄木川	すぎの子幼稚園、おおぞら保育園園児等206名	ヤマ稚魚 2,500尾
	3/3	みどり市東町・小中川	みどり市立あずま小学校5年生等 6名	ヤマ稚魚 2,000尾
	3/12	前橋市大渡町・利根川	前橋市地域住民 25名	ヤマ稚魚 8,000尾
両毛漁協	5/29	桐生市相生町・渡良瀬川 C&R 区域 (相川橋上流)	桐生市小学生、父兄 106名	ヤマ稚魚 7,000尾
	10/30	桐生市相生町・渡良瀬川 C&R 区域 (相川橋上流)	両毛広域地域住民 32名	ヤマ発眼卵5,000粒
	2/20	桐生市相生町・渡良瀬川 (市民広場脇)	桐生市小学生、父兄地域住民 20名	ヤマ成魚 35kg
	2/26	桐生市相生町・渡良瀬川 C&R 区域 (相川橋上流)	両毛広域地域住民 58名	ヤマ成魚 40kg
	3/5	桐生市相生町・渡良瀬川 C&R 区域 (相川橋上流)	両毛広域地域住民 50名	ヤマ成魚 40kg
上野村漁協	5/14	上野村新羽地区・神流川	上野保育園児、先生 40名	アユ稚魚 25kg
	5/28	上野村新羽地区・神流川	上野小学校児童、先生 80名	アユ稚魚 25kg

(2) 群馬県産アユ種苗放流推進事業

群馬県内で作出・養成されたアユ種苗の県内河川への放流拡大を推進するため、漁業協同組合の県内産アユ種苗購入費に対し助成を行った。(予算額：900,000円、助成額958,450円)

※助成対象漁協数11漁協・放流量6,610kg・種苗購入費19,731,170円

(3) 減少魚放流推進事業

群馬県の在来魚種のうち減少魚・希少魚等について、水産試験場が手がける人工種苗生産技術により作出された種苗を入手、令和4年3月10日に水試産ギンブナ4,924尾を太田市米沢町太田市ふれあい農園調整池に太田市農政部農村整備課職員等立ち会いのもと放流した。

(予算額：60,000円、実績額：35,144円)

○放流実績明細 (ギンブナ)

放 流 先	月 日	重量(kg)	平均体重(g)	尾数(尾)
太田市米沢町 太田市ふれあい農園調整池	3月10日	46.64	9.47	4,924

財産目録

令和4年3月31日現在

科 目	場 所 等	物 量	使用目的等	金 額
I 資産の部				
1 流動資産				
現金・預金				
普通預金	群馬銀行県庁支店/0065244		運転資金として	860,301
定期預金	群馬銀行県庁支店/0221758			0
流動資産合計				860,301
2 固定資産				
(1)基本財産				
投資有価証券	みずほ証券ルークレジットリンク債		公益目的保有財産/法人会計	120,885,000
	みずほ証券ソフトバンククレジットリンク債		公益目的保有財産/法人会計	92,590,000
	33回東京建物社債		公益目的保有財産/法人会計	2,964,600
定期預金	群馬銀行県庁支店/0221758		公益目的保有財産/法人会計	300,000
基本財産合計				216,739,600
(2)特定資産				
経営安定積立資産(普通)	群馬銀行県庁支店/0638023		経営安定積立資産として	3,364,000
経営安定積立資産(定期)	群馬銀行県庁支店/0221758		経営安定積立資産として	10,000,000
特定資産合計				13,364,000
固定資産合計				230,103,600
資産合計				230,963,901
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	事業費(種苗購入費)		漁協地域住民交流推進事業	554,000
	支払手数料		上記事業に係わる支払手数料	3,740
	社会保険料(3月分)			45,231
源泉税預り金	役職員所得税			3,316
流動負債合計				606,287
負債合計				606,287
正味財産				230,357,614

【令和4年7月7日公示】

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金(群銀)	860,301	1,580,173	△719,872
定期預金(群銀)	0	0	0
未収金	0	0	0
流動資産合計	860,301	1,580,173	△719,872
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券			
みずほ証券ソフトバンククレジットリンク債	92,590,000	98,970,000	△6,380,000
みずほ証券ルノークレジットリンク債	120,885,000	0	120,885,000
33回東京建物社債	2,964,600	0	2,964,600
定期預金(群銀)	300,000	300,000	0
普通預金(群銀)債券再投資資金	0	153,000,000	△153,000,000
基本財産合計	216,739,600	252,270,000	△35,530,400
(2) 特定資産			
普通預金・経営安定積立資産	3,364,000	3,864,000	△500,000
定期預金・経営安定積立資産	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	13,364,000	13,864,000	△500,000
固定資産合計	230,103,600	266,134,000	△36,030,400
資産合計	230,963,901	267,714,173	△36,750,272
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	602,971	639,980	△37,009
源泉税預り金	3,316	4,825	△1,509
流動負債合計	606,287	644,805	△38,518
負債合計	606,287	644,805	△38,518
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	216,739,600	252,270,000	△35,530,400
基本財産受取利息	0	0	0
指定正味財産合計	216,739,600	252,270,000	△35,530,400
(うち基本財産への充当額)	(216,739,600)	(252,270,000)	(△35,530,400)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	13,618,014	14,799,368	△1,181,354
(うち特定資産への充当額)	(13,364,000)	(13,864,000)	(△500,000)
正味財産合計	230,357,614	267,069,368	△36,711,754
負債及び正味財産合計	230,963,901	267,714,173	△36,750,272

貸借対照表明細書

I 資産の部

1. 流動資産

現金

種別	前年度末現在	本年度増加額	本年度減少額	本年度末現在
現金	0	2,599,086	2,599,086	0
計	0	2,599,086	2,599,086	0

普通預金

(単位:円)

預入先	前年度末現在	本年度預入額	本年度引出金	本年度末現在
群馬銀行県庁支店	1,580,173	4,075,421	4,795,293	860,301
計	1,580,173	4,075,421	4,795,293	860,301

定期預金

預入先	前年度末現在	本年度増加額	本年度減少額	本年度末現在
群馬銀行県庁支店	0	0	0	0
計	0	0	0	0

未収金

種別	前年度末現在	本年度増加額	本年度減少額	本年度末現在
未収金	0	0	0	0
計	0	0	0	0

2. 固定資産

投資有価証券類

預入先	前年度末現在	本年度増加額	本年度減少額	本年度末現在
公社債(社債)	98,970,000	154,030,000	36,560,400	216,439,600
定期預金(群銀)	300,000	3,000,000	3,000,000	300,000
普通預金(群銀)	153,000,000	0	153,000,000	0
計	252,270,000	157,030,000	192,560,400	216,739,600

注:社債内訳 みずほ証券 2億5千万円、東京建物 300万円

経営安定積立資産

預入先	前年度末現在	本年度増加額	本年度減少額	本年度末現在
群馬銀行県庁支店 普通預金	3,864,000	0	500,000	3,364,000
群馬銀行県庁支店 定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
計	13,864,000	0	500,000	13,364,000

II 負債の部

1. 流動負債

未払金

種別	前年度末現在	本年度増加額	本年度減少額	本年度末現在
事務局長社会保険料	45,120	45,231	45,120	45,231
漁協地域住民交流 推進事業経費	542,000	554,000	542,000	554,000
〃 支払手数料	2,860	3,740	2,860	3,740
事務所賃借料	50,000	0	50,000	0
計	639,980	602,971	639,980	602,971

源泉税預り金

種別	前年度末現在	本年度増加額	本年度減少額	本年度末現在
役職員所得税	3,600	16,692	18,201	2,091
源泉所得税	1,225	13,272	13,272	1,225
計	4,825	29,964	31,473	3,316

注:源泉所得税は、法定調書作成報酬・登記報酬に伴う預かり税金

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	3,178,304	3,949,130	△770,826
②受取補助金等			
県産アユ種苗放流推進補助金	300,000	300,000	0
③雑収益			
受取利息	217	1,050	△833
経常収益計	3,478,521	4,250,180	△771,659
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	1,038,500	1,038,500	0
福利厚生費	181,719	175,840	5,879
旅費交通費	2,500	0	2,500
通信運搬費	13,994	13,994	0
消耗品費	2,228	2,124	104
賃借料	25,000	25,000	0
事務補助謝金	180,000	180,000	0
種苗購入費	1,547,594	1,600,400	△52,806
漁協地域住民交流推進	(554,000)	(542,000)	(12,000)
群馬県産アユ種苗放流推進	(958,450)	(1,058,400)	(△99,950)
減少魚放流推進	(35,144)	(0)	(35,144)
支払手数料	9,900	9,020	880
雑費	4,780	4,290	490
事業費計	3,006,215	3,049,168	△42,953
②管理費			
給料手当	1,038,500	1,038,500	0
福利厚生費	181,718	175,839	5,879
接待交際費	10,000	0	10,000
会議費	8,280	8,208	72
旅費交通費	217,200	221,890	△4,690
通信運搬費	2,806	2,806	0
消耗品費	742	708	34
事務委託費	166,914	165,814	1,100
賃借料	25,000	25,000	0
支払負担金	2,500	2,500	0
管理費計	1,653,660	1,641,265	12,395
経常費用計	4,659,875	4,690,433	△30,558
価損益等調整前当期経常増減額	△1,181,354	△440,253	△741,101

基本財産評価益			
基本財産投資有価証券売却益	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,181,354	△ 440,253	△ 741,101
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,181,354	△ 440,253	△ 741,101
当期一般正味財産増減額	△ 1,181,354	△ 440,253	△ 741,101
一般正味財産期首残高	14,799,368	15,239,621	△ 440,253
一般正味財産期末残高	13,618,014	14,799,368	△ 1,181,354
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,178,304	3,949,130	△ 770,826
②基本財産評価益			
基本財産投資有価証券評価益	1,030,000	25,680,000	△ 24,650,000
③基本財産評価損			
基本財産投資有価証券評価損	36,560,400	1,030,000	35,530,400
④一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 3,178,304	△ 3,949,130	770,826
当期指定正味財産増減額	△ 35,530,400	24,650,000	△ 60,180,400
指定正味財産期首残高	252,270,000	227,620,000	24,650,000
指定正味財産期末残高	216,739,600	252,270,000	△ 35,530,400
III 正味財産期末残高	230,357,614	267,069,368	△ 36,711,754

収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	3,949,000	3,178,304	△ 770,696	
② 補助金等収入				
県産7種育苗放流推進補助金	300,000	300,000	0	
③ 雑収入				
受取利息収入	1,000	217	△ 783	
事業活動収入計	4,250,000	3,478,521	△ 771,479	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
給料手当支出	1,039,000	1,038,500	△ 500	
福利厚生費支出	180,000	181,719	1,719	
旅費交通費支出	5,000	2,500	△ 2,500	
通信運搬費支出	25,000	13,994	△ 11,006	
消耗品費支出	15,000	2,228	△ 12,772	
賃借料支出	25,000	25,000	0	
事務補助謝金支出	180,000	180,000	0	
種苗購入費支出	1,660,000	1,547,594	△ 112,406	
支払手数料	10,000	9,900	△ 100	
雑支出	5,000	4,780	△ 220	
事業費支出計	3,144,000	3,006,215	△ 137,785	
② 管理費支出				
給料手当支出	1,039,000	1,038,500	△ 500	
福利厚生費支出	180,000	181,718	1,718	
接待交際費支出	10,000	10,000	0	
会議費支出	15,000	8,280	△ 6,720	
旅費交通費支出	240,000	217,200	△ 22,800	
通信運搬費支出	5,000	2,772	△ 2,228	
消耗品費支出	5,000	2,806	△ 2,194	
事務委託費支出	170,000	166,914	△ 3,086	
賃借料支出	25,000	25,000	0	
租税公課支出	1,000	0	△ 1,000	
負担金支出	3,000	2500	△ 500	
管理費支出計	1,693,000	1,653,660	△ 39,340	
事業活動支出計	4,837,000	4,659,875	△ 177,125	
事業活動収支差額	△ 587,000	△ 1,181,354	△ 594,354	

Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
経営安定積立資産取崩収入	0	500,000	500,000	
投資活動収入計	0	500,000	500,000	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	500,000	500,000	
Ⅲ 予備費支出				
予備費支出				
当期収支差額		△ 681,354		
前期繰越収支差額		935,368		
次期繰越収支差額		254,014		

収支計算書に対する注記

1 次期繰越収支差額に含まれる資産・負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	1,580,173	860,301
流動資産合計	1,580,173	860,301
未払金	639,980	602,971
預り金	4,825	3,316
流動負債合計	644,805	606,287
次期繰越収支差額	935,368	254,014

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

当法人は、基本財産の運用収益を主な財源として事業活動を行ってきております。当事業年度においては、基本財産となっている保有債券の運用において、普通預金（債券再投資資金）を、みずほ証券・ルークジットリンク債(1億5千万円)、東京建物社債(300万円)の債券を購入、新たに保有しました。

また、運転資金確保のため、令和3年度当初に経営安定積立資産を50万円取り崩しました。

現状の低金利水準の状態は、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況となっております。当法人においては当該状況に対処すべく、適切な対応策を関係者と協議を行いながら進めていますが、継続事業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表には反映しておりません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のあるもの・・・時価法による。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

3. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	98,970,000	154,030,000	36,560,400	216,439,600
定期預金	300,000	3,000,000	3,000,000	300,000
普通預金(債券再投資資金)	153,000,000	0	153,000,000	0
小 計	252,270,000	157,030,000	192,560,400	216,739,600
特定資産				
経営安定積立資産				
普通預金	3,864,000	0	500,000	3,364,000
定期預金	10,000,000	0		10,000,000
小 計	13,864,000	0	500,000	13,364,000
合 計	266,134,000	157,030,000	193,060,400	230,103,600

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	216,439,600	(216,439,600)		
定期預金	300,000	(300,000)		
小 計	216,739,600	(216,739,600)	(0)	(0)
特定資産				
経営安定積立資産				
普通預金	3,364,000		(3,364,000)	
定期預金	10,000,000		(10,000,000)	
小 計	13,364,000	(0)	(13,364,000)	(0)
合 計	230,103,600	(216,739,600)	(13,364,000)	(0)

5. 担保にしている資産

該当資産なし

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

7. 債権の債権金額、貸し倒れ引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

8. 保証債務の偶発債務

該当なし

9. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当資産なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
県産アユ種苗放流推進事業補助金	群馬県	0	300,000	300,000	0	
合計		0	300,000	300,000	0	

11. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への切替額 基本財産受取利息	3,178,304
合計	3,178,304

13. 関連当事者との取引の内容

該当なし

14. キャッシュフロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

キャッシュフロー計算書は作成していない。

15. 重要な後発事象

重要な後発事象はない。

16. その他

該当なし